	⑶　⑵の共用コアルータユニット数から１を減じたものを共用コアルータ渡り10Ｇインタフェース数とし、これを共用コアルータ10Ｇインタフェース数に加える。 ⑷　⑴から⑶までにより求めた共用コアルータ10Ｇインタフェース数、共用コアルータ10Ｇボード数及び共用コアルータユニット数のそれぞれについて冗長化考慮した後、データ系に係るもの（最繁時呼量帯域比により算定するものとする。）を控除したものをそれぞれ当該局の音声系冗長化後共用コアルータ10Ｇインタフェース数、音声系冗長化後共用コアルータ10Ｇボード数及び音声系冗長化後共用コアルータユニット数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により、局ごと共用コアルータ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、共用コアルータ投資額を算定する。 局ごと共用コアルータ投資額 ＝音声系冗長化後共用コアルータユニット数×共用コアルータユニット単価 ＋音声系冗長化後共用コアルータ10Ｇボード数×共用コアルータ10Ｇボード単価 ＋音声系冗長化後共用コアルータ10Ｇインタフェース数×共用コアルータ10Ｇインタフェース単価 ＋音声系冗長化後共用コアルータユニット数×共用コアルータソフトウェア単価
コア局用Ｌ２ＳＷ	１　設備量の算定 ⑴　コア局ごとに、ＰＴＮ１Ｇポート数、ＣＳ１Ｇポート数、ＭＧＷ１Ｇポート数、ＳＧＷ１Ｇポート数及びＭＧＣ１Ｇポート数の合計をコア局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数とし、共用コアルータにおけるコア局用Ｌ２ＳＷ対向10Ｇインタフェース数をコア局用Ｌ２ＳＷ10Ｇインタフェース数とする。 ⑵　⑴のコア局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数及びコア局用Ｌ２ＳＷ10Ｇインタフェース数の合計をコア局用Ｌ２ＳＷ１ユニット当たり最大収容インタフェース数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）をコア局用Ｌ２ＳＷユニット数とする。 ⑶　⑴及び⑵で算定したコア局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数、コア局用Ｌ２ＳＷ10Ｇインタフェース数及びコア局用Ｌ２ＳＷユニット数のそれぞれについて冗長化係数を乗じ、ＰＴＮ経由のＡＤＳＬ地域ＩＰサービスに係るもの（最繁時呼量帯域比により算定するものとする。）を控除したものをそれぞれ当該局の音声系冗長化後コア局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数、音声系冗長化後コア局用Ｌ２ＳＷ10Ｇインタフェース数及び音声系冗長化後コア局用Ｌ２ＳＷユニット数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により局ごとコア局用Ｌ２ＳＷ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、コア局用Ｌ２ＳＷ投資額を算定する。 局ごとコア局用Ｌ２ＳＷ投資額 ＝音声系冗長化後コア局用Ｌ２ＳＷユニット数×コア局用Ｌ２ＳＷユニット単価 ＋音声系冗長化後コア局用Ｌ２ＳＷ10Ｇインタフェース数×コア局用Ｌ２ＳＷ10Ｇインタフェース単価 ＋音声系冗長化後コア局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数×コア局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース単価
ＭＧＷ	１　設備量の算定 ⑴　コア局ごとに、コア局ごとＩＣ接続回線数から定まるＭＧＷＳＴＭ－１ポート数について冗長化考慮したものを冗長化後ＭＧＷＳＴＭ－１ポート数とする。 ⑵　⑴の冗長化後ＭＧＷＳＴＭ－１ポート数をＭＧＷ収容率及びＭＧＷ１ユニット当たり最大ＳＴＭ－１ポート数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を冗長化後ＭＧＷユニット数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により局ごとＭＧＷ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、ＭＧＷ投資額を算定する。 局ごとＭＧＷ投資額 ＝（ＭＧＷユニット部投資額＋ＭＧＷユニット部ソフトウェア投資額） ＋（ＭＧＷ回線依存部投資額＋ＭＧＷ回線依存部ソフトウェア投資額） ＝（冗長化後ＭＧＷユニット数×ＭＧＷユニット単価＋冗長化後ＭＧＷユニット数×ＭＧＷユニットソフトウェア単価） ＋（冗長化後ＭＧＷＳＴＭ－１ポート数×ＭＧＷＳＴＭ－１ポート単価＋冗長化後ＭＧＷＳＴＭ－１ポート数×ＭＧＷＳＴＭ－１ポートソフトウェア単価）